



小学生のための看護学生体験を開催しました！



3月25日(土)に県立石見高等看護学院で、令和5年度に5年生・6年生になる市内の小学生を対象とした「小学生のための看護学生体験～子どもと保護者で一緒に～」が開催され、児童とその保護者12組24名が参加しました。初めに「免疫」をテーマに、先生方の寸劇を交えた授業で免疫のしくみや免疫力を高めることについて楽しく学びました。続いて、在宅医療の実習ができる家庭看護実習室や大講義棟、図書館、標本室など学院内の施設を見学しました。また、演習用人形や注射モデル、フィジカルアセスメント人形などを使って、看護学生がどんなことを学んでいるのかの説明を受けました。児童たちは、看護学院で学ぶ内容をしっかりイメージすることができたようでした。

この体験を通して、子ども達が看護職への理解を深めるとともに、将来の職業選択の一助となることで、益田で働く医療従事者の増加につながることを願っています。



医師会病院の新院長・齊藤洋司院長が市長室を訪れました！



4月7日(金)、益田地域医療センター医師会病院の新院長に就任された齊藤洋司院長が着任挨拶のため市長室を訪れました。

齊藤院長は、昨年度まで島根大学医学部麻酔科教授としてご活躍される傍ら、毎月2回程度、医師会病院で専門の緩和ケアなどの診療を行なってこられました。齊藤院長からは「暮らしを支えるインフラとしての医療体制の構築に向けて、益田の地で取組を進めていきたい」と心強い言葉をいただきました。

なお、これまで26年間にわたって医師会病院の院長を務めた狩野稔久前院長は名誉院長となり、益田市医師会介護医療院「ふたば」の施設長に就任されました。

第7号

益田の日本遺産かわら版 益田市立歴史文化交流館オープン！

【問い合わせ先】

益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会
文責：市日本遺産推進室 ☎ 31-0081

交流館では、今後、皆さんに益田市の魅力を感じていただくよう、さまざまなイベントやワークショップを開催する予定です。交流館は、観光客の皆さんはもちろん、市民の皆さんも益田市の魅力を体感できる場所です。ぜひ、交流館にお越しください。

4月1日(土)、益田市立歴史文化交流館がオープンしました。この交流館には、市民の方などが交流活動の場として活用できる「交流活動ルーム」、文化財や伝承文化の普及啓発に関する展示を行う「展示ルーム」、そして、益田市の観光情報の発信や観光案内を行う「情報発信エリア」の3つの機能があります。特に「情報発信エリア」では、中世益田の日本遺産を始めとする観光情報を提供しています。日本遺産のまち益田市を訪れた観光客の皆さんには、まず「情報発信エリア」で情報を収集し、市内を巡る旅を楽しんでいただきたいと考えています。また、市民の方にも学びの場、憩いの場として活用いただけます。交流館に多くの人が集い、交流することで、地域に賑わいが生まれることが期待されます。

4月1日(土)、益田市立歴史文化交流館がオープンしました。この交流館には、市民の方などが交流活動の場として活用できる「交流活動ルーム」、文化財や伝承文化の普及啓発に関する展示を行う「展示ルーム」、そして、益田市の観光情報の発信や観光案内を行う「情報発信エリア」の3つの機能があります。特に「情報発信エリア」では、中世益田の日本遺産を始めとする観光情報を提供しています。日本遺産のまち益田市を訪れた観光客の皆さんには、まず「情報発信エリア」で情報を収集し、市内を巡る旅を楽しんでいただきたいと考えています。また、市民の方にも学びの場、憩いの場として活用いただけます。交流館に多くの人が集い、交流することで、地域に賑わいが生まれることが期待されます。



過去



現在



「情報発信エリア」では、プロジェクションマッピングで日本遺産の構成文化財の現在と過去を紹介します。また、観光案内ブースもあり、皆さんの観光周遊をサポートします。

多くの方に見守られる中、開館セレモニーが盛大に行われました。

※開館時間など詳しい情報はこちら
益田市立歴史文化交流館
(市ホームページ)